

JAPANESE TRADITION REDISCOVERED BY MODERNISTS:

“KATSURA” BY YASUHIRO ISHIMOTO

# モダニストの日本美

—石元泰博「桂」の系譜



石元泰博《桂離宮 新御殿外観南面部分》1981、82年 国際交流基金蔵  
©Kochi Prefecture, Ishimoto Yasuhiro Photo Center

2018 年

1 月 4 日 | 木 | — 3 月 4 日 | 日 |

休館日 毎週月曜日（ただし祝日休日にあたる場合は開館、翌日火曜日閉館）

開館時間 9:30—17:00（入館は 16:30 まで）

主催 三重県立美術館

特別協力 国際交流基金

助成 公益財団法人三重県立美術館協会の

三重県立美術館

MIE PREFECTURAL ART MUSEUM

三岸好太郎、  
ブルーノ・タウト、  
長谷川三郎……  
彼らは古い日本に  
モダン  
最先端を見た

# JAPANESE TRADITION REDISCOVERED BY MODERNISTS: "KATSURA" BY YASUHIRO ISHIMOTO

サンフランシスコに生まれ、シカゴのインスティテュート・オブ・デザイン（通称、ニュー・パウハウス）に学んだ写真家、石元泰博（いしもと・やすひろ 1921-2012）は、1953、4年に桂離宮を撮影、1960年、建築家W・グロピウス、丹下健三との共著による写真集『KATSURA』を日米で出版し、内外から注目を集めました。これはモダニスト的な視点が日本の伝統美を捉えた代表的な作例と見なされます。

日本の古典美と西洋モダニズムとの親和、類似を見る視点の系譜は、昭和初期にまでたどることができます。前衛画家、三岸好太郎は、モダニズムが究極にまで進んだかに東洋的なものが現れるという認識を述べました。建築家ル・コルビュジエらのモダニズム建築が日本に紹介された時、日本の伝統建築との類似が指摘され、古建築が再評価されます。1933年に建築家ブルーノ・タウトが来日して桂離宮や伊勢神宮を賛美し、大きな影響を与えたことは言うまでもありません。さらに長谷川三郎やイサム・ノグチといった造形作家も近代的な精神から日本の古典美を改めて評価しつつ自らの創作を行いました。本展では、伝統的な日本美をモダニストが再評価した系譜を作品や資料によってたどりつつ、そのひとつの到達点として石元の「桂」を位置づけ、このシリーズの代表的な作例 50 点を紹介します。

## ■観覧料

一般 900(700) 円 学生 700(500) 円 高校生以下無料

( ) 内は前売りおよび 20 名以上の団体割引料金

・この料金で常設展示もご覧いただけます。・学生の方は生徒手帳・学生証等をご提示ください。・障害者手帳等をお持ちの方および付き添いの方 1 名は観覧無料。・家庭の日（毎月第 3 日曜日）は団体割引料金となります。・主な前売り券発売場所：チケットぴあ、サークルKサンクス、セブン-イレブン他

## ■イベント

○ミニ・シンポジウム「モダニズムと日本的なもの」

2018 年 2 月 3 日（土） 14:00-16:00 当館講堂にて

### Part 1 報告

速水 豊（三重県立美術館館長）

「モダニストの日本美 石元泰博「桂」から振り返る」

谷口英理（国立新美術館 美術資料室長）

「前衛美術と日本的なもの—長谷川三郎を中心に」

梅宮弘光（神戸大学大学院人間発達環境学研究所教授）

「建築・デザインのジャパニーズ・モダンとジャポニカ・スタイル」

### Part 2 パネル・ディスカッション

上記 3 名のパネリストによる

※聴講無料 事前申し込み不要 参加希望の方は講堂にお集まりください

○ギャラリー・トーク（学芸員による解説）

1 月 13 日（土）、1 月 27 日（土）、2 月 10 日（土）、2 月 24 日（土）

いずれも 14:00—

※聴講無料 要観覧券 参加希望の方は展示室入口にお集まりください



a



b

a 石元泰博《桂離宮 新御殿折曲り入側縁西面・一の間と二の間境の柱部分》  
1953、54 年 国際交流基金蔵

b 石元泰博《桂離宮 楽器の間広縁前の雨落排水溝と飛石》  
1953、54 年 国際交流基金蔵

c 石元泰博《桂離宮 古書院広縁と月見台》  
1953、54 年 国際交流基金蔵

©Kochi Prefecture, Ishimoto Yasuhiro Photo Center



c



d



e



f



g

d 三岸好太郎《旅愁》筆彩素描集『蝶と貝殻』より  
1934 年 名古屋美術館蔵

f 岸田日出刀『過去の構成』表紙  
1929 年 構成社青房 京都府立図書館蔵

e ブルーノ・タウト《画帖—桂離宮》（部分）  
1934 年 岩波書店蔵

g 長谷川三郎《桂》  
1951 年 国立国際美術館蔵

## 三重県立美術館 MIE PREFECTURAL ART MUSEUM

〒514-0007 三重県津市大谷町 11

Tel: 059-227-2100 Fax: 059-223-0570

<http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/art-museum/>

Follow us on twitter @mie\_kenbi



### □同時開催

「今村幸生展」(柳原義達記念館)  
2018 年  
1 月 4 日(木)～3 月 25 日(日)

### □次回の企画展 (予定)

「ばくとわたしと みんなの  
tupera tupera 絵本の世界展」  
2018 年  
3 月 17 日(土)～6 月 10 日(日)

## ■交通アクセス

近鉄、JR 津駅西口から徒歩約 10 分、または、津駅西口 1 番のりばより三重交通バス「西園地循環」、「津西ハイタウン行き（むつみ・つつじ経由）」、「夢が丘団地行き（総合文化センター前経由）」、「総合文化センター行き」のいずれかに乗車約 2 分、「美術館前」下車徒歩約 1 分

